

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
 事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
 編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
 HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和5年8月(2023年) No.692

第63回OMCフェスティバル(10月2日月曜日 13:00~) プログラム編成決まる

このほど行われた幹事会で、各自の出品作品が次のように決まりました。
 出品作品は8月例会にお持ちください

プログラム

■ 第一部

| | | |
|--------------------|-----|-------|
| ① つれづれなるままに | 07分 | 柴辻英一 |
| ② 西播磨の巨木は日本一 | 10分 | 紙本 勝 |
| ③ ビンゴゲーム | 07分 | 植村朝一 |
| ④ 妻恋道中 | 04分 | 西村亀雄 |
| ⑤ 丹生都比売神社 神仏習合の始まり | 13分 | 宮崎紀代子 |
| ⑥ 2020よさこい | 09分 | 江村一郎 |
| ⑦ すみよっさん | 14分 | 鉄具嘉夫 |
| ⑧ 小さな観覧車 | 09分 | 高瀬辰雄 |

■ 第二部

| | | |
|-----------------|-----|------|
| ⑨ 東京見物 | 05分 | 上総秀隆 |
| ⑩ ボスポラス海峡 | 08分 | 山本正夢 |
| ⑪ 河内長野 花の文化園イルミ | 07分 | 中川良三 |
| ⑫ 時の停った国 | 09分 | 西村光雄 |
| ⑬ 震災12年目 被災者の本音 | 07分 | 中村幸子 |
| ⑭ 天国に一番近い島 | 08分 | 高田幸夫 |
| ⑮ 丹後半島 伊根の印象 | 06分 | 岡本至弘 |
| ⑯ V I A鉄道 | 13分 | 関 剛 |
| ⑰ 八十路の夫婦 | 14分 | 合原一夫 |

前半合計(73分)

後半合計(77分) 合計150分

- 作品コメント; 36字以内にまとめて8月10日までに岡本副会長にご提出下さい。
- 出品料 ; 従来通りの計算で出された金額を会計に納めて下さい

8月例会のご案内

- 第4土曜日26日 13時開場、13時30分より例会開催、役割分担当番の人は開催30分前までにお越しください。楽しいひと時を過ごしましょう。

撮影会作品コンテスト

宮崎紀代子さんが最優秀賞

7月第2例会で行われた撮影会コンテストには、参加者8名中7名の方が出品されました。会場のお集りの会員諸氏が1位と思われる作品に3点、2位には2点3位には1点の持ち票で、それぞれ投票し、順位を競いました。その結果、下記の通りになり、会長より記念品が手渡されました。

| | | | |
|-------------------------|-----|------------|--------|
| ■ 撮影会作品コンテスト結果発表 | 努力賞 | 中川良三 | 10分00秒 |
| 最優秀賞 宮崎紀代子 (23票) 12分45秒 | | 天野の里で花盛祭 | |
| 丹生都比売神社 神仏習合の始まり | 努力賞 | 鉄具嘉夫 | 09分13秒 |
| 優秀賞 高瀬辰雄 (13票) 09分30秒 | | 丹生都比売神社花盛祭 | |
| 桜咲く里の花盛祭 | | | |
| 秀作賞 江村一郎 (12票) 09分50秒 | | | |
| 天野の里花盛祭 | | | |
| 努力賞 山本正夢 09分00秒 | | | |
| 花盛まつり | | | |
| 努力賞 岡本至弘 09分00秒 | | | |
| 丹生都比売神社 花盛祭 | | | |



■ 総評 会長 合原一夫

花盛祭は由緒ある祭りとは言え、こじんまりとして見せ場も少ないので、皆さんどう纏められるのか懸念していましたが、結果を見て、何とかうまく纏められたな、という思いがしました。宮崎作品は花盛祭だけでなく神社のまつわるお話し等幅広く捉えられていて最優秀作品となりました。この作品はOMCフェスティバル出品作として推薦されます。その他の作品も期待以上に上手く出来ていました。

7月第二例会レポート

今年は例年になく暑い日が続いている。会場へたどり着くと冷房が効いていて涼しい。薄い上着の一つも欲しくなる室温だ。街の人出もコロナ前に戻り、二次会の喫茶店組は、遂にどこも店が満員で、ようやく居酒屋組に合流し、ウーロン茶と料理で歓談を楽しむことが出来、ほっと一安心

今月の第二例会は第一部が撮影会作品コンテストの部で、前記の様に入賞者が決定ご苦労様でした。続いて第二部は一般作品上映で5作品が上映された。

■ 運営担当：司会 合原、書記 高瀬、YouTube 関係 高瀬、映写 鉄具、岡本、メモリー記録 江村、受付・照明 宮崎、森下の各氏

■ 出席者：岩井、植村、江村、岡本、上総、合原、高瀬、鉄具、中川、中村、宮崎、森下、山本の13氏
上映作品 (今月の書記は高瀬幹事)

1. 祇園祭 お迎え太鼓 BD 高瀬辰雄 6分20秒

(作者コメント) 祇園祭の主役は山鉦、そして、その巡行ですが、神事としての主役は3基の神輿。山鉦巡行は神輿渡御の道を清める露払いの役目を担っているのです。3基の神輿は氏子町内を渡御しますが、その時、太鼓を叩いて神輿を迎える町内があります。丹波八坂太鼓、よかろう太鼓、八坂太鼓を撮影して一つにまとめました。



2. 時の停まった国ネパール DVD 西村光雄 9分20秒

(作者コメント) ネパールには昔の日本を感じる部分があり、それを含めて作品にしました。



(書記コメント) ネパールの人々の日常や生活を、日本人に通じる優しさや自己主張しない性格を感じ取る中で、見事に描かれている。滞在中、自然体で過ごせたといわれ、カメラワークもそれにふさわしい、さりげなさが秀逸。

3. ご苦労さん BD
合原一夫 13分22秒

(作者コメント) ネパールトレッキングの記録だが、2回目の今回は作品では荷物を背負って運ぶポーター達に焦点を当てて制作したものである。ネパールの村から村へ高い山を見ながら楽しむ我々トレッカー達の裏にはまじくもけなげに働く彼女らの姿に感動するものがあった。1999(平成11年)年、玄光社全国旅コン入賞作品。



(書記コメント) トレッカーの荷物を運ぶネパールのポーター達の姿を克明に描かれている。作者の感動が映像を通して伝わってくる。特に若い女性ポーターのけなげさと明るい笑顔が印象に残る作品です。

4. 短歌紀行 桜花爛漫(改作) BD
岡本至弘 9分10秒

(作者コメント) 6月例会に出品した作品の改作です。8月にある会場で個人映写会に上映のために再制作しました。短歌3作品を追加しました。



(書記コメント) 6月例会に続いて改作されている。短歌を新たに3首加えられ、6首を全編通じてほぼ均等に挿入、作者本人の名前も記載し、短歌紀行にふさわしい作品に仕上げられている。ただ、それだけに一層、作者の登場シーンに工夫が欲しいという感想が聞かれた。

5. 東京うろうろ記 BD
江村一郎 7分50秒

(作者コメント) 去年、行った京都で撮影されたものが出来ていないので、その反省から今回の東京総会での撮影は何とか作品とすべく取り組みました。タイトルで示すように久々の東京見学のほんの一部を切り取りました。



(書記コメント) 6月に行われた日本アマチュア映像作家連盟の総会に出席し、次の日の東京観光撮影会に参加されての作品。ただメインとなるはずの小石川後樂園は土砂降りの雨、赤坂迎賓館は内部の撮影禁止、ニコンミュージアムでは今一つポイントが絞りにくそうで、屋外で行われていたバスケットの試合にかなりの時間を割かれている。大雨を伝えるニュースから始まり、ラストはバスガイドの歌で締めくくられ、悪条件の中で何とかまとめようという意欲が感じられます。

7月通常例会レポート

2日前に第二例会があったばかりで、続いての例会だけに、いつもよりやや少な目の参加者だったが、OMCフェス作品締切り日とあって、出品候補作を含めて6本の出品があり、充実した例会となった。

- 運営担当：司会 岡本、書記 合原、YouTube 関係 江村、映写 上総、山本、メモリー記録 江村、受付・照明 宮崎、森下の各氏
- 出席者：岩井、江村、大久保、岡本、上総、合原、高瀬、鉄具、坪井、中川、宮崎、森下、山本の13氏

上映作品(今月の書記は合原会長)

1. 雪・渡月橋 BD
江村一郎 8分10秒

(作者コメント) 去年は春の渡月橋をテーマにしましたので今回は対照的に真冬の渡月橋



を取り上げました。雪の降った当日はJ R 京都線がストップし大阪駅は大混乱。阪急電車だったので問題なくいくことが出来た。

(書記コメント) 今年1月雪が京都に降ったので撮影されたがいろいろな多彩なカットを撮られている。単なる橋の雪景色だけでなく、橋にまつわる歴史など採りいれて奥行きを深くされた。寒い雪の中へ撮影に行かれた努力作。

2. ひな人形収納 **BD**
上総秀隆 **3分33秒**

(作者コメント) 堺市中区の兎山住宅でひな人形収納の為に人々が集まった。2005年4月撮影。

(書記コメント) 由緒ある旧家の「ひな人形」を収納する場面を撮影したもので、古くから伝えられた大切な「ひな人形」の風格が伺える。ちなみに撮影は亡き父親の修一郎とあり懐かしかった。



3. 海苔と共に60年 **BD**
合原一夫 **19分56秒**

(作者コメント)

福岡県みやま市、有明海に面した半農半漁の町である。海苔の養殖業に取り組んで60年。夫婦とも八十路を越えた。体のあちこちに痛みを感じながら、今年も海苔と共に生きている。だが今年、海苔は天候不良と海の栄養不足で茶色く「色落ち」して商品価値がガタ落ちし、大損害を被った。多額の設備投資を抱えて来年こそと祈るような気持ちの夫婦を描く。



4. 懐かしの門司港 **BD**
鉄具嘉夫 **10分00秒**

(作者コメント)

高校生の頃、門司港に住んでいました。今から20年前高校の同窓会に行った時の門司港の風景です。

(書記コメント)

過去に撮った映像を基にレトロな門司港あたりを懐かしく思い出しながら語る。鉄具作品にしては趣きの変った作品。



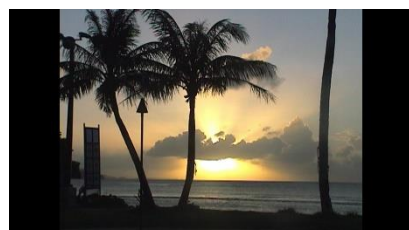
5. 思い出のグァム **BD**
高瀬辰雄 **12分00秒**

(作者コメント)

25年ほど前の1998年頃の作品。勤めていた会社の慰安旅行で撮影したものです。特にポイントも無く、団体旅行の観光ビデオです。

(書記コメント)

高瀬さんの海外旅行作品は、初めて観たと思う。4:3映像時代だが美しい島の風景や踊りなど、十分楽しませて頂いた。



6. ヴィリニウス **BD**
山本正夢 **8分10秒**

(作者コメント) よく外国物のビデオはないかと聞かれるので、とりあえず未発表の作品を探しました。

(書記コメント) 世界遺産都市、リトアニアの首都ヴィリニウスで撮影された貴重な映像。教会が2千もあるという。ソ連時代に造られた元KGB本部は、今KGB博物館となっていてそのおぞましい内部が紹介される。今は独立してEUに加盟しているが、ロシアに対する警戒感が強い、と締めくくられている。

